

# 「データドリブンスタディーズ」クラスファイルの使用法



図 1 図の例

情報 太郎<sup>1</sup> 情報 花子<sup>2</sup>

和文アブストラクトを記載してください。英文アブストラクトは不要です。

## 1 クラスファイル

「データドリブンスタディーズ」のクラスファイルは dds.cls です。和文論文の場合、冒頭で

```
\documentclass{dds}
```

と記述してください。

## 2 論文種別

「データドリブンスタディーズ」には 4 つの論文種別があります。

1. 一般論文
2. データ論文
3. サーベイ論文
4. 特別寄稿

適切なカテゴリ番号を

```
\Category{1}
```

などと指定してください。

## 3 巻・論文番号など

論文の巻，論文番号，発行年月は以下で指定します。

```
\Volume{1}  
\ArticleNumber{1}  
\Year{2023}  
\Month{3}
```

記入内容については，編集委員会の指示を仰いでください。新規投稿時には，これらの値はそのままにしておいてください。

## 4 論文タイトル

論文のタイトルは

```
\title{論文タイトル}
```

と記述します。英文タイトルは不要です。

## 5 著者情報

著者情報の記載例は次のようになります。

```
\author  
{情報 太郎}% 氏名  
{3}% 会員種別  
{DBSJ 大学データ工学研究科}% 所属  
{taro@sample.email.ac.jp}% メールアドレス
```

英文氏名は不要です。会員種別については，以下から適切な番号を選んでください。

1. 一般会員
2. 名誉会員
3. 学生会員
4. 非会員

メールアドレスについては，スパムメールなどを気にされる場合は，“taro AT sample.email.ac.jp”などの記述としていただいても構いません。

## 6 ページ数

「データドリブンスタディーズ」のページ数は原則 8 ページまでとなっています。投稿時には上限を超えないよう執筆してください。

なお，採録通知後，編集委員会からの指示によりページ数が 8 ページを超えた場合は問題としません。

また，サーベイ論文については 8 ページを超えたページ数の論文を受け付けることがありますので，論文誌編集委員会にご相談ください。

## 7 図と表

図は

```
\begin{figure}[t]  
\centering  
...  
\caption{図の例}  
\label{fig:sample}  
\end{figure}
```

と記述します。図の例を図 1 に示します。

表は以下のように記述します。

```
\begin{table}[t]  
\caption{表の例}  
\label{tbl:sample}  
\centering
```

<sup>1</sup> 学生会員 DBSJ 大学データ工学研究科  
taro@sample.email.ac.jp

<sup>2</sup> 正会員 DBSJ 大学データ工学研究科  
hanako@sample.email.ac.jp

表 1 表の例

|          |          |        |
|----------|----------|--------|
| (1, 1)   | (1, 2-3) |        |
| (2-3, 1) | (2, 2)   | (2, 3) |
|          | (3, 2)   | (3, 3) |

...

```
\end{table}
```

表の例を表 1 に示します。なお、**表のスタイルについては任意と**します。表 1 のスタイルに従う必要はありません。

## 8 参考文献

参考文献の箇所の例は以下のようになります。

```
\small  
\bibliographystyle{plain}  
\bibliography{reference}
```

引用の例は [1] となります。参考文献については `\small` によりフォントサイズを指定してください。なお、ここでは BibTeX のスタイルとして `plain` を用いていますが、**参考文献のスタイルは任意と**します。他のスタイルを用いていただいても構いません。

## 9 著者紹介

著者紹介は不要です。

## 10 節番号の例：第 1 レベル

節番号の例です。まずは第 1 レベル (`\section{...}`) です。

### 10.1 第 2 レベル

第 2 レベル (`\subsection{...}`) です。

#### 10.1.1 第 3 レベル

第 3 レベル (`\subsubsection{...}`) です。

■**パラグラフ** パラグラフ (`\paragraph{...}`) です。

## 参考文献

- [1] E. F. Codd. A relational model of data for large shared data banks.  
*Comm. ACM*, 13(6):377–387, 1970.